



ヘルスサービス開発研究センター

平成 29 年 7 月 1 日発足

生活と調和した医療のために — Towards health services in harmony with life

ヘルスサービス開発研究センターは、平成 29 年 7 月 1 日開所して以来、日本初のヘルスサービスリサーチ (HSR) に特化したセンターとして、実績を積んで参りました。

HSR とは、医療を一連のサービスとして捉え、「人に健康・幸福をもたらすサービスを、必要な人に、いかに質を高め、効果的に届けるか」を研究し、その質の向上を図る学問です。

国レベルや地域のデータ分析等を通して、実社会とともにサービス向上を目指しています。そして、特に本センターでは、予防から介護福祉を含む広いサービスとその連続性を大切に、社会に実装することを大切にしています。

開かれた大学である筑波大学らしく、みなさまと共にあるセンターとして、さらに歩んでいきたいと思っております。



田宮 菜奈子センター長

センターのミッション

少子高齢化時代において、「人に健康・幸福をもたらすサービスを、必要な人にいかに効果的に届けるか」を研究し、社会に実装する。

国家との連携

政策提言
エビデンス創出



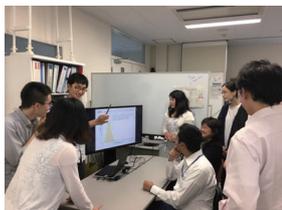
公的ファンド

ヘルスサービス開発研究センター

二次データ活用による学際研究の推進と社会実装を推進



筑波大学
医学医療系
病院
体育系
人間系



- 二次データ基盤部門
- 地域包括ケア研究・実装部門
- 地域予防医学部門
- 臨床医学部門
- グローバルエイジング部門
- 家族総合政策部門

学との連携

国際連携

税金を使わず Win-win で高齢社会を支える！

産業界との連携

(株) JMDC

(株) GMSS ヒューマンラボ

(株) エス・エム・エス

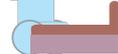
医療関係企業



急性期病院



回復期病院



在宅介護サービス

介護サービス業



老人ホームや
老人保険施設

地域との連携

地方自治体

- 老人クラブ
- 自治会
- ボランティア
- NPO 等

生活支援

介護予防